

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月10日更新

事務事業名		防犯協会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	8	防犯意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目4	事業連番10034	法令根拠	大津地区防犯協会連合会会則 成果優先度評価結果：⑤ コスト削減優先度評価結果：⑪	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	防犯思想の普及徹底を図り、犯罪のない明るい郷土を建設することを目標とした県防犯協会の活動に参画する事業。防犯思想の普及徹底を図り、犯罪のない明るい郷土を建設することを目的に協会が発足。窃盗、盗難等の事件が増え、協会の啓発の重要性が増している。事務局は大津警察署生活安全課内に設置されている。
【業務の流れ】	負担金の支払い。 防犯協会が行う事業への支援
【主な予算費目】	・負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・負担金の支払い。		H24年度に同じ
・防犯協会が行う事業への支援。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:協会が行う事業数	件	人口、世帯数の増加による負担金の増
→イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民	人	→ア:市民
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・当協会の活動を通して、防犯意識を高める。	団体	→ア:防犯パトロール団体数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
・市民の防犯意識が高まったかどうかを判断する材料として、自主防犯パトロール団体の数を考えた。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	件	0	25	14	24	14	14	14	14
	イ									
②対象指標	ア	人	0	56,638	56,829	57,367	57,377	57,925	58,474	59,024
	イ									
③成果指標	ア	団体	25	25	27	24	27	27	27	27
	イ									
投資 入費 量	事業 費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,713	2,751	2,793	2,793	2,839	2,893	2,952
	人件 費	(A)事業費計	千円	2,713	2,751	2,793	2,793	2,839	2,893	2,952
		(A)のうち指定経費	千円	2,713	2,751	2,793	2,793	2,839	2,893	2,952
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	2	2	2	2	2	0
投資 入費 量	人件 費	延べ業務時間	時間	252	102	102	12	12	12	12
		(B)人件費計	千円	1,038	411	411	48	48	48	48
	トータルコスト(A)+(B)		千円	3,751	3,162	3,204	2,841	2,887	2,941	3,000

事務事業名	防犯協会参画事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？ ☐達成した ☒達成しなかった ⇒【原因】 防犯意識の啓発が十分でなかったため目標を達成しなかった。
	②25年度目標達成見込み	☒目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 新たな団体の結成へ働きかけを行うことにより目標達成に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	☒向上余地がある ⇒【理由】 ☐向上余地がない ⇒【理由】 ・自主防犯団体未結成の地区はまだ多いため、働きかけを行うことで向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒他に手段がない ⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・本協会の業務を支援するのは、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐削減余地がある ⇒【理由】 ☒削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金のみの事業費である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐削減余地がある ⇒【理由】 ☒削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金の支払事務、協会事業への支援であり、削減の余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒公平・公正である ⇒【理由】 ・市内全域の防犯に関する協会の業務を支援するもので、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐見直し余地がある ⇒【理由】 ☒役割分担は適正である ⇒【理由】 ・負担金の支払い、協会事業の啓発については、行政の役割である。

3 評価結果の総括（SEE）

※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

協会の活動には参加し、市民の防犯意識の高揚を図ったが、さらに協会と連携をとりながら、より地元に根付いた活動が必要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善（有効性改善）
☐事業のやり方改善（効率性改善）
☐事業のやり方改善（公平性改善）
☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

今後も防犯協会と連携をとりながら、防犯活動を推進していく。

(2) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

なし

合志市